

九州運輸局メールマガジン

平成 21 年 11 月 13 日 第 57 号（発行日：毎週金曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。

今号の【現場レポート】では、その場の空気が伝わる写真をご覧できる URL を掲載しています。

九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはこちらから。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_57.pdf

目次

- 1．九州運輸局ホームページアップ情報（11月6日～11月12日掲載分）
 - お知らせ
 - プレス発表
 - 入札・契約情報
 - 行政処分状況
 - 海技試験制度・合格発表
 - バス・タクシー・トラック
 - 海運・船
- 2．お知らせ
- 3．現場レポート
 - 博多湾シーカヤックわくわく体験会
 - 「日本丸見学会」を大分県佐伯市で実施～「最大」同士のコラボが実現～
 - 交通エコロジー教室を開催しました！
- 4．九州運輸局セミナー
 - 国際競争力の向上、環境にやさしい物流の実現に向けて
- 5．リレーコラム
- 6．編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（11月6日～11月12日掲載分）

お知らせ

- ・映像記録型ドライブレコーダーの活用マニュアルの策定について

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file056/file056_211106_1.pdf

プレス発表

《交通環境》

- ・「バリアフリー教室 in 花畑」の開催について（11月12日発表）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091112.pdf>

入札・契約情報

- ・企画競争実施公示（11月9日、11日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・企画競争結果の公表

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/091111.pdf

行政処分状況

- ・一般乗用旅客自動車運送事業者（平成21年10月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/body.htm>

・一般貨物運送事業者（平成 21 年 10 月分・過積載を除く）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kamotu09_10.pdf

・一般貨物運送事業者（平成 21 年 10 月分・過積載に限る）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kasekisai09_10.pdf

九州統計情報

【造船関係】

・九州・山口（西部）における鋼製船舶建造実績（更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen01_08.pdf

・管内船用工業の現況

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen04_08.pdf

海技試験制度・合格発表（10月定期、1級）

・筆記試験の科目合格発表、口述試験の日程、筆記試験の合格発表（10月定期、1級）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

・総合合格発表（10月定期）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/sougou21_11_10.pdf

バス・タクシー・トラック

・特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法第 11 条第 1 項に規定する特定事業計画の認定要領について（差替）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/taxi27_1.pdf

・運転者講習を実施する者一覧（H21.11.5 現在）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika21_6_1.pdf

・申請公示、申請処分状況

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html#ry_shobun

海運・船

・申請処分状況（倉庫業・内航海運業・船員派遣事業）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html#ry_shobun

【お知らせ】

「海事産業の現状と課題」～海事王国九州の再確認を～
11月30日（月）に第7回海事振興セミナーが福岡市にて開催されます！

九州は「一割経済」といわれていますが、そのような中であって離島航路や造船業は3割、長距離フェリー航路数は7割、また、他の海事産業においても2～3割を占めるなど、九州において海事産業は地域に貢献する非常に重要な産業です。

今回のセミナーでは、「海事産業の現状と課題」～海事王国九州の再確認～をテーマに、国土交通省海事局の大黒伊勢夫次長（前九州運輸局長）が講演を行います。今後の九州の海事産業の発展、活性化につながる有意義なセミナーになることが期待されます。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

九州運輸局は海事振興セミナー（主催：(財)九州運輸振興センター）を後援しています。

お問合せは次のURLから

<http://kyushu-transport.or.jp/>

（交通環境部物流課）

【現場レポート】

博多湾シーカヤックわくわく体験会

11月7日(土)「ふくおか・マリノア海の駅」において、福岡地区マリンスポーツ実行委員会主催(後援:九州運輸局)による、小学生親子を対象としたシーカヤック体験乗船会が開催されました。

これは、安全で健全なマリンスポーツ振興事業を通して、海洋基本法の施策の一つである『国民が海洋について理解と関心を深め、豊かで潤いある国民生活に資する海洋性レクリエーションの普及推進』を実行し、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する、をコンセプトとしたイベントです。(笹川スポーツ財団助成、全国の「海の駅」で初めての助成事業)

インストラクターとして、日本セーフティカヌーイング協会(JSCA)公認指導者のカヌースクール九州から西胤(にしつぐ)校長ほか3名の方が参加されました。

当日は夏日となる晴天のもと、53人の親子が参加し、陸上講習後にシーカヤック(タンデムタイプ)に乗り込み、マリノアの海面を思う存分漕ぎ廻っていました。子供達にとっては、安全対策を学んで海への恐怖心も無くなり、パディと息を合わせて助け合い、さらに海への感謝も忘れないイベントになったことだと思います。

運営するオジサン達は子供達の笑顔に癒され、マリノアシティからはギャラリーが興味津々で見守っていました。「ふくおか・マリノア海の駅」では、この体験乗船会を2010年度からシーズンを通じて開催しますので、小中学生のお子さんが居る御家庭のイベントメニューとして御期待下さい。

当課では、青少年が各種マリンスポーツイベント・交流会を通じて海に親しみ、次のステップとして免許・船検不要のミニボート等を体験、その後免許を取得してレンタルボートで海に繰り出し、最後にはボートユーザーとなる「舟艇の流通と消費の増進」を展開する拠点として、「海の駅」の利便性向上、多機能化の推進を支援しています。

・当日の様子の写真は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_57.pdf
(海事振興部船舶産業課)

「日本丸見学会」を大分県佐伯市で実施
~「最大」同士のコラボが実現~

10月31日から11月4日までの5日間、大分県佐伯市に航海訓練所の帆船「日本丸」が寄港しました。これは昨年3月に大分県南地域の海事関係者や教育機関によって設立された「佐伯海事地域人材確保連携協議会」の要請に応えたものです。大型帆船が佐伯市に寄港するのは17年前に「海王丸」が入港して以来となります。

日本丸は日本最大の帆船であることは知られていますが、寄港地である佐伯市も、実は九州で最大の面積を有する自治体なのです。まさしく「最大」同士のコラボレーションが実現したと言えるでしょう。

大分運輸支局では、この機会に子供たちが海への関心をより高めてもらうよう、「海の子育成プロジェクト」を企画し、11月4日に大分市内の小中学生を対象とした日本丸見学会を実施しました。

また、見学会に向かうバスの中では、運輸局職員が講師となって、海の仕事に関するテーマで「出前講座」も行いました。

当初、緊張気味の子供たちも、バスの窓から日本丸が見えると一気に歓声が上がりました。船内に乗り込むと、船の設備ひとつひとつに興味津々の様子で、日本丸の実習生のガイド案内に対して真剣に耳を傾けていました。見学会の様子は、大分県下の民放3社すべてに夕方のテレビニュースで放送されました。

見学会終了後に実施したアンケートでは「楽しかった」「勉強になった」等の回答が多数あり、おおむね好評であったことが伺えました。一方、子供たちには運輸局の存在があまり知られていないという事実も判明し、今後も地道な活動が必要であることを痛感しました。

佐伯市をはじめとした大分県南地域は海の幸・山の幸が自慢です。このたび、12月4日から来年5月30日までの間、福岡と佐伯を結ぶ高速バス「くろしお号」が試行運行することになりました。くろしお号は週末や年末年始、ゴールデンウィークに運行されますので、この機会に大分県南地域にぜひ遊びに来てはいかがでしょうか。

・当日の様子の写真は、次の URL からご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_57.pdf

(大分運輸支局)

交通エコロジー教室を開催しました！

九州運輸局交通環境部では、10月13日に北九州市立南丘小学校、11月2日に太宰府市立太宰府小学校、11月5日に福岡市立笹丘小学校で、「交通エコロジー教室」を開催しました。この教室は、小学5・6年生の総合学習を利用したもので、総勢310名の生徒の参加がありました。

まず、教室の冒頭には、九州運輸局の仕事について簡単な説明をした後に、福岡大学の浅野先生から「バスや電車に乗って地球の温暖化を防ごう」と題したテーマで、地球温暖化問題について、わかりやすく説明をいただきました。

その中の内容のひとつで、このまま温暖化が進むと、「ミカンが九州では阿蘇山でしか取れなくなるよ」とか、「リンゴやお米も北海道の名産になってしまうよ」と先生から説明があると、教室のみんなからは「え～」とびっくりした声が聞かれました。

質問コーナーでは、「ゴミを減すことは、本当に温暖化対策になるんですか」など真剣な質問がありました。

運輸局から最後のまとめとして、バスや電車といった乗物がマイカーに比べてより地球に優しい乗物であり、公共交通の乗物とマイカーを上手に使い分けていこうと呼びかけて終了しました。

後日いただいた生徒さんからのアンケートでは、「マイカーがバスよりCO₂の排出が多いとは思わなかった。これからはバスに乗ろうと思います。」といった感想が寄せられました。

今後もさらにより良い教室にして、九州各地で開催していきたいと思っております。

・当日の様子の写真は、次の URL からご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_57.pdf

(交通環境部環境課)

【九州運輸局セミナー】

国際競争力の向上、環境にやさしい物流の実現に向けて

もしも物流がストップしたら、貴方は食べる物を手に入れることが出来ますか？
普段は余り意識されない「物流」ですが、我が国の経済活動や国民生活にとってなくてはならない重要な分野です。

九州とくに北部九州は、中国、韓国など東アジア地域との時間・距離における地理的優位性を有しており、我が国と東アジアのゲートウェイとしてその重要性は増しております。また、日本におけるCO₂排出量のうち、運輸部門からの排出量は約20%を占めており、日本全体のCO₂排出量削減を進めるためには、運輸部門ひいては物流部門における削減が必要不可欠となっております。

九州運輸局では、本年7月に閣議決定された「総合物流施策大綱（2009 - 2013）」の三大目標

グローバル・サプライチェーンを支える効率的物流の実現

環境負荷の小さい物流の実現等

安全・確実な物流の確保等

の実現に向けて、産学官での連携・協働による「北部九州国際物流戦略チーム」や「九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会」の活動等を通じて、国際競争力の確保に向けた方策の検討や物流効率化の推進に向けて取り組んでおります。

また、生産者と消費者を結ぶ物流の結末点として重要物資を大量かつ安全に保管する倉庫の施設基準適合状況を確認・審査することにより、安全・安心に利用できる物流施設の提供を通じて、国民生活の安定に寄与しています。

物流に関する問題解決を図るには、単独の企業努力だけでは解決できない問題も多くあります。「物流課」は人と人との繋がりを大切にしながら、今後とも国民の理解と協力、荷主企業と物流企業の連携・協働、地域レベルでの関係者の連携・協働により取組みを支援し、諸問題の解決に向けて取り組んで参ります。（交通環境部物流課）

【リレーコラム】

～ 香椎を巡って ～

いきなり物騒な話で恐縮だが、私の住む街は情死事件で全国的にも有名な場所である。

とは言っても、物語の中での話。皆さんご存知の松本清張の「点と線」の舞台となった「香椎」の街である。

以下「点と線」の一節から、情死体の発見された場面をそのまま転記してみる。

「鹿児島本線から門司方面から行くと、博多につく三つ手前に香椎という小さな駅がある。この駅をおりて山の方に行くと、もとの官幣大社香椎宮、海の方に行くと博多湾を見渡す海岸に出る。

前面には「海の中道」が帯のように伸びて、その端に志賀島の山が海に浮かび、その左の方には残の島（このしま）がかすむ眺望のきれいなところである。

この海岸を香椎潟といった。昔の「檀日（かしい）の浦」である。太宰師（だざいのそち）であった大伴旅人はここに遊んで、「いざ子ども香椎の潟に白紗の袖さへぬれて朝菜摘みてむ」（万葉集巻六）と詠んだ。

しかし、現代の乾いた現実、この王朝の叙情趣味を解さなかった。寒い一月二十一日の朝六時半ごろ、一人の労働者がこの海辺を通りかかった。彼は、「朝菜を摘む」かわりに、家から名島にある工場に出勤する途中であった。」

そして、この労働者が男女の情死体を発見、近くの駐在所にいる巡査（＝物語の主人公となる鳥飼重太郎という古参の中年刑事）を現場に案内し、ミステリーの開幕となるのである。

「事件」から半世紀たった今でも、香椎の駅を降りると、街にはレトロでどこか鄙びた匂いが漂っている。

残念ながら、海の方に足を向けても、小説にあるように、香椎の海岸から海の中道や志賀島や能古島のきれいな眺望を楽しむことは出来ない。近代的な人工島アイランドシティとおしゃれなマンション群が邪魔して？いるからだ。事件現場となった香椎潟の海岸も埋め立てによりすっかり様変わりしているようだ。いずれも、昔日の面影を偲ぶことはできない。

また、香椎のお隣のJR千早駅周辺は一昔前の国鉄香椎操車場の跡地を再開発してできた瀟洒なマンションが立ち並ぶござっぱりとしたきれいな街が造成中だ。

だが、香椎の駅周辺には、幸いにも？まだまだ開発の手が及びきっていない。虫食いだか、昔からの路地や路地裏に趣のある昭和の家並みがまだまだ沢山残っているのだ。

JR香椎駅前から国道3号線に向かう駅前通りはセピア通り。商店街の目抜き通りは、キラキラ通りとみゆき通り。商店街には、志賀島から婆ちゃんが枇杷やボタ餅、季節の野菜を担いで露天の行商に来ていたりする。また、西鉄香椎駅の裏には、そのまま映画のロケに使えるような、さらに古びた昭和レトロのいい味わいの商店街が連なっている。

踵を返し、山の方に向けてJR鹿児島本線の踏み切りを渡ると香椎宮の参道だ。参道入り口の大きな鳥居をくぐると、楠の大木が鬱蒼と生い茂る木洩れ日の心地よい並木道が神社まで続いている。

ところで、週末の我が家の定番は、地場の旬の食材盛り沢山の安くて滋味豊かな鍋物だ。地元の新鮮な食材を仕入れに、子供たちを連れて香椎の商店街をブラブラ散歩。また、時には美味しい湧き水を求めて香椎宮の名水「不老水」の井戸にお参りしたり。これが小市民的にはなかなか楽しい。

小説が書かれた昭和32年当時の香椎の様子は想像すべくもないが、およそセレブとは対極的なこの香椎の街の何とも言えない雰囲気、いわゆる社会派推理作家とも言われる松本清張の心を強く魅了し、物語の舞台たらしめたのではないかと、香椎の一住民として勝手に解釈し納得している次第。

今年2009年は松本清張生誕100年とのこと。つい先週日曜日の晩にもビートたけし主演のテレビドラマ「点と線」が放映されていたがつつい見逃してしまった。小説の方は、幸いにも百道にある福岡市総合図書館の閉架書庫に所蔵されていた新潮文庫の初版本（昭和46年5月発行で定価110円！）が借りられたので、今、読み始めているところである。

今宵も地元香椎宮の名水「不老水」で割った秘蔵の鹿児島焼酎を片手に、どのような謎解きと結末が待っているのか、晩秋のミステリーにハマってみたいものだ。

注）「香椎」の地名の由来

熊襲征伐の折に亡くなられた仲哀天皇の棺を御座所である檀日宮（かしいのみや）にある椎の木に立て掛けて、神功皇后が御前会議を開かれていた時に棺から薫香が漂いだしたことが「香椎」の地名の由来と言われている。今からおよそ1800年も昔の話。

（九州運輸局自動車交通部長 日向 弘基）

【編集長だより】

今週もメールマガジンをご覧いただきありがとうございます。

いよいよ秋も終盤を迎え、福岡市内の街路樹のいちょうの木もところどころ色づきはじめています。紅葉前線は九月に北海道からはじまり徐々に日本を南下し、九州のすぐ近くまで来ています。九州でも高い山はすでに紅葉がはじまっていて、やがて平地でも見事な紅葉が見れるのではないのでしょうか。

ちなみに、春の桜前線の標準木は「ソメイヨシノ」ですが、秋の紅葉前線の標準木は赤く色づく「イロハカエデ」だそうです。日本には古くから「紅葉狩り」という独特の文化があり、季節を感じる心を忘れぬためにも大切にしていきたいと思います。

メールマガジン編集部ではメールマガジン配信希望者を募集しています。九州運輸局ホームページの「メールマガジンのご案内」から簡単にお申込みできますので、お知り合いの方にもご紹介いただけたら幸いです。

皆様からのご意見・ご要望等を募集しています。下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

九州運輸局メールマガジン フォトライブラリー

第57号 平成21年11月13日(金)

現場レポート

博多湾シーカヤックわくわく体験会



まずは座学と柔軟体操



ライフジャケットとヘルメットで準備完了



パドル操作の指導にも熱が入ります



さあ、乗船です



カメラマンも水上へ、近くからパチリ



親子で息を合わせて～ イチ！ニッ！



賑わった海面・・・ 遊休水面が・・・



す～いす～いと

「日本丸見学会」を大分県佐伯市にて実施



日本丸の勇姿



歓迎セレモニーでの船長さんのあいさつ



さあ乗船だ！



何だろう、これ？



ねえ、ねえ教えて！



日本丸をバックに記念撮影

交通エコロジー教室を開催しました！



福岡大学 浅野先生のわかりやすい説明



大画面のスライドに興味津々



普段の授業より熱心？に聞き入る生徒の皆さん